

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。NITS 大賞に応募する場合、ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

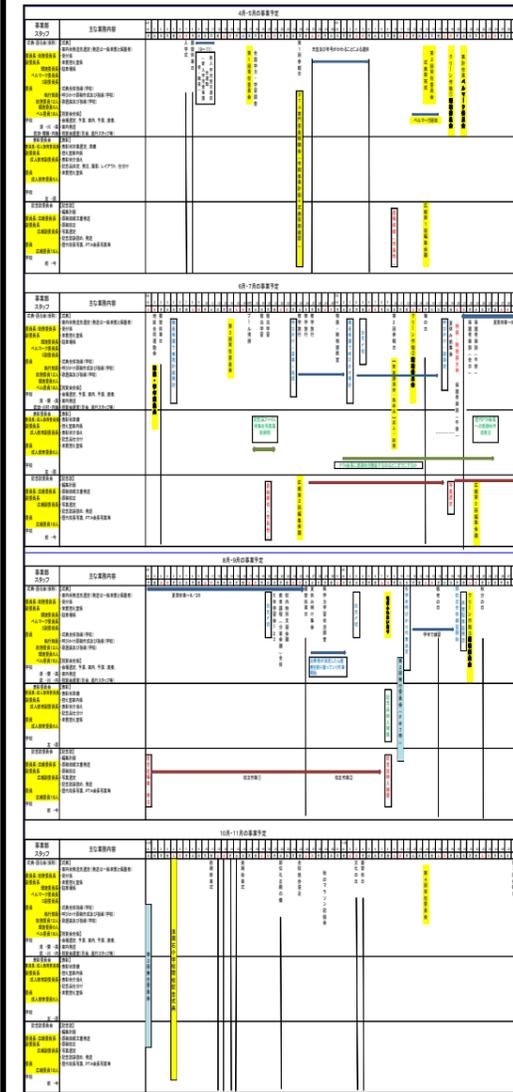
【様式 2】

No. B-50

研修成果の活用レポート ※「NITS 大賞」にエントリーされる場合は <award@ml.nits.go.jp> 宛てメールにて、ご応募ください。

所属名・氏名・修了した研修名	応募部門名
青森県黒石市立浅瀬石小学校 中村 康 平成30年度 第3回副校長・教頭研修	働き方改革実践部門
活動名: 子供が安心できる統合 ～校内、保護者、小いの連携～	
解決すべき課題: 黒石市では、令和2年度7校が2校に統合する。本校も令和2年3月145年で歴史を閉じることになり、今年度は閉校式典及び統合の準備が新たに進められる。 また、地域住民や保護者からは閉校を惜しむ声と統合後の子供に関する不安が多い。 これらのことを踏まえ、統合後も継続して『子供が行きたい学校』『保護者や地域住民が行かせたい学校』の実現を目指すための全教職員による学校運営が課題と考え、以下の目標を設定した。	
目標・方針: 1 教育課程に閉校式典までの日程を組み入れたガントチャートを全教職員が共有し、閉校実行委員会(以下保護者)にも提供することにより、閉校に係る新たな業務を補完でき、子供と触れ合う時間の確保や教育課題解決の手立てを講じるなどができ、職務の質を維持・向上させる。 2 統合へ向けての準備等について、統合校(4校)の教職員で話し合い、前倒し実践(交流行事)を行ったり保護者や地域に情報公開したりすることにより、統合前後の心のギャップを取り除き、統合後の不登校未然防止につなげる。	
活動内容: 1 (1) 閉校式典までのガントチャート(表1)を作成し、全教職員と委員会で共通理解する。各委員会(式典、表彰、記念誌)が、適宜計画案を改善しながら業務を遂行する。 (2) 教職員は、負担軽減分の時間を、子供との時間(放課後の個別指導や教育相談等)及び教育課程実践(生活目標の見える化や聞くスキル強化等)等に活用するなど工夫改善する。 2 (1) 長期休業に統合校の全教職員で統合年度の教育課程編成準備を行う。前倒し実践(学習用具、合同遠足、スクールバス利用交流学習等)を各校の実状に応じて実施する。 (2) 合同行事(合同遠足、交流学習等)を通じた子供の統合に対する意識の把握と事後の指導に役立てる。安心した統合に向けた保護者への情報発信や個に配慮した面談を行う。	
活動の成果: 1 (1) ガントチャートは活動を見通すのに有効で、各委員会の業務もほぼ予定通り達成できた。学校と家庭の協力関係の下、教職員の職務(保護者は仕事)に負担があまりない結果となった。 (2) 教職員は、閉校に伴う新たな業務で負担軽減された時間を、子供との時間確保や教育課程の実践にこれまで以上に積極的に取り組み、指導の工夫改善をしている。(グラフ1 図1) 2 (1) 統合校全教職員による夏休みの学年、分掌会議はもちろん、合同遠足の担当による事前打合せや実地踏査、各校での事前打合せ等をきめ細やかに行うことが効果的で、安全に行事を遂行できた。小規模校である本校の教職員には、統合後、大集団の指導をするための現職研修にもなった。(図1) (2) 合同遠足を通して、本校の子供は他校の子供と協力するなど楽しんでしたが、統合については楽しみにしている子供は半数ほどにとどまる。今後の交流学習や4月の統合に向けて、児童理解と小規模校ならではの不安を解消する手立てと方策について、校内で研修中である。(グラフ2)	
アピールポイント(アイデアや工夫) 1 すべては子供が主役の取組、しかし今回の取組により教職員の働き方改革にも繋がった。(退勤定刻16時30分に対して、本校教職員平均17時22分) 2 今後、少子化のために統合をする学校に必要ですが無理なく取り組めること 3 ガントチャートを用いて教職員と保護者全ての共通理解を図り、連携を強くするきっかけづくりをしたこと	

表1 閉校式典までのガントチャート



グラフ1 式典業務アンケートより(教職員10名対象)

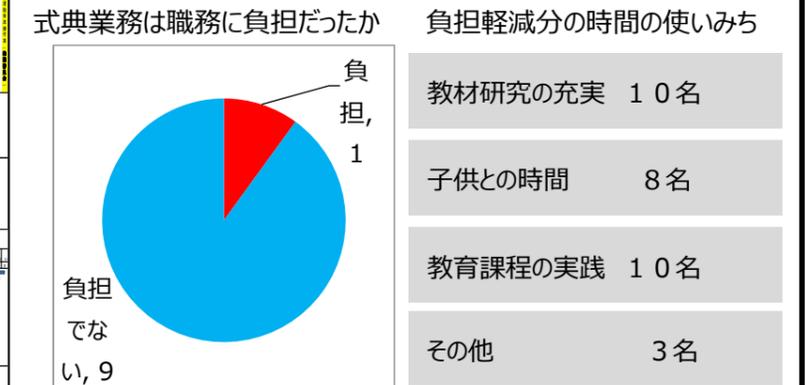
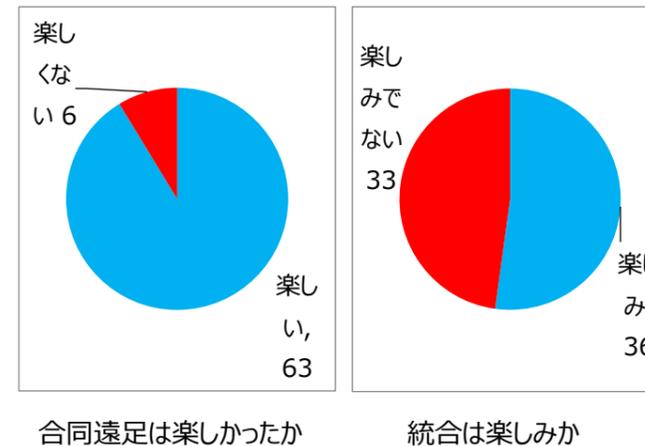


図1 教育課程の実施、改善例(前倒し実践を含む)



グラフ2 合同遠足後の統合意識調査より



子供が安心して統合へ向かうための手立て

- 「聞く」を重点とした基礎的・基本的な内容の定着(学習、生活)
- 人とかかわる喜びを育むたてわり班活動
- 子供にも保護者にも地域にも、目をかけ声をかけ